子どもに伝えたいことってたくさんあるけど一番伝えたいのは『生まれてきてくれてありがとう』ということ。そのことが伝われば子どもは生きていく中で多少失敗してもそこを拠り所に正しく生きていってくれると思う。（お父ちゃん交流会名言集）

# みつばち保育園をつくる会お父ちゃん部通信

卒園＆進級おめでとう号　通算第 42 号　2014 年 3 月 26 日　発行人　卒園式終わった小林樹父

毎年この時期にこの通信で卒園される先輩保護者へのメッセージを記していたのに，今回は自分が卒園するということでなんだか不思議な気持ち。卒園式で泣き続け，涙をぬぐい続けたハンドタオルが絞れるんちゃうかと他の保護者にからかわれましたが，泣きすぎて脱水状態になっていた気はします。

卒園式では，年長の子どもたちの心と体の集大成というべき素敵なリズムを見せていただき，また園長先生，森本担任からあたたかい言葉いただきました。子どもも親としてもこんな未熟なまま卒園するのは本当に残念ですが，森本担任が子どもたちに問いかけてくれた「自分のことが好きですか？」「お友達のことが好きですか？」との問いには，うちの子どももうなずいていました。その部分では，みつばちの保育をなんとか最低限理解した子育てはできていたのかもしれないとも思っています。

忙しい保護者しか入れない保育園なのに，休日や夜間に保護者が参加する活動が山のようにありました。その結果，心から信頼できる保護者仲間，一生相談したいと思える先生ができました。朝は時間がないのにロールマットをせいといわれた結果，子どもの足は 180 度近く開き，普通怪我をするだろうという状況でもちゃんと受け身？をとれる体ができました。つくる会の活動に参加して，時に喧嘩のような意見交換をする中で，子育て，福祉，人生を考えることができました。

2015 年度から子ども子育て関連法の中で保育制度が大きく変わり，功利主義的な動きが強まりそうですが，将来にわたって，みつばちの保育をつなげていくために

**みつばち保育園をつくる会にすべての保護者の方が参加されることを願います。**

## 4 月 13 日（日）つくる会企画卒園・入園みつばち交流会

実はみつばちは入園式がないんですよね。その代わりに新入園児世帯にみつばちのことを知ってもらおう，同時に，小学校に入学して新生活に戸惑っているだろう卒園生，保護者がほっこりする場を設けようということで，つくる会で卒園・入園みつばち交流会という企画を考えてくれています。詳細はまた別途案内があるのだと思いますが，

日時　　４月 13 日（日）　９時半～11 時半

参加費　大人 300 円〈ワンドリンク付き〉，子ども 100 円　休日の過ごしにぜひ参加してと浅本顧問からの伝言です。。

## 4 月 5 日（土）夜お父ちゃん部卒園メンバーを送る会

って卒園するお父ちゃん部メンバーって発行人のことですがな。自分の送る会の案内を自分で書くという「痛さ」がなかなかいい感じと悦に入っています。参加を希望される方はかえで森りお父（お父ちゃん部会長）まで連絡をお願いします。皆様から父親として子育てに対する思いを聞かせていただくつもりです。思いをしっかり受け止め，学ばせていただき，みつばち保育園を離れた新しい環境下でこれからの子育ての道を歩んでいきたいと思います。

ということで，2009 年 8 月の「勝手に創刊号」以降 42 号にわたって続いた「お父ちゃん部通信」もいったん終了です。続きは森，堀田，宮川，李，武山さんの誰かが書いてくれるかな？

お父ちゃん部の歴代卒園メンバーは自分の子育てについて語り，また他人の子育てについても意見するという，みつばちのいう「どの子もわが子」を実践していましたが，発行人は子育ての内容がひどいものであったため，自分自身の子育てについて自信を持って語ることができなかったし，他の保護者の子育てに助言するということもできませんでした。そのことは恥ずかしく思っています。

信頼関係をベースにお互い「お前の子育て間違ってるで」と言い議論しあう中で，共に親として成長できる濃ゆーーい関係づくりを今後お父ちゃん部で再構築いただくことを祈念して筆をおきます。